

お手入れ ガイド

真空包装機 <Bタイプ>



※詳しいお手入れ内容は取扱説明書をご確認ください。

お手入れの前に

- 必ず電源が入っていないことを確認し、各部が冷えてから行ってください。
- お手入れは清潔なふきんを使用し、清潔な手で行ってください。

⚠ 使用上の注意

- 次のようなものは使わないでください。
<塗装面やプラスチック面を傷めるもの>
シンナー・ベンジン・**アルコール**・石油・粉石けん・みがき粉・**アルカリ性洗剤**・酸・たわしなど。
特に換気扇・レンジなどに使用する強力な洗剤。
- <さびの発生につながるもの>
塩素系漂白剤など。
- 化学雑巾をご使用の際は、その使い方に従ってください。
- 洗剤分が残っていると、金属、プラスチック面を傷める原因になります。

毎日のお手入れ

雑菌の付きやすいところですので、隅々まで掃除をして常に清潔にしてください。やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れを拭き取ってください。油污れには、薄めた食器用中性洗剤をやわらかいふきんなどに染み込ませて、拭き取ってください。

ガイド・ヒーターブロック

- 1 ガイド B を取り外して、やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



ホットパック仕様の場合は、ガイド/ホットパックを取り外して、やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



- 2 ヒーターブロックの右側を持ち上げ、右にスライドさせながら取り外します。やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



- 3 ガイド A を取り外して、やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



⚠ 使用上の注意

- ・ヒーターブロックを落としたりぶつかけたりして、曲がってしまうと正常なシールができなくなります。曲がった場合は交換が必要です。ホシザキ販売会社に連絡してください。
- ・ヒーターブロックには水分が残らないようにしっかりふき取ってください。故障の原因になります。
- ・ヒーターブロックに食品が付着したまま包装すると発煙・発火の原因となります。こまめに掃除をしてください。

お手入れガイド | 真空包装機 < Bタイプ >

毎日のお手入れ

チャンバー・ヒーターピン・ガスノズル

- 1 やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



ヒーターピンには水分が残らないようにしっかりふき取ってください。故障の原因になります。



プレート

- 1 スナップピンを取り外し、プレートを取り外します。やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



⚠ 使用上の注意

- ・プレートを落としたりぶつけたりして、曲がってしまうと正常なシールができなくなります。曲がった場合は交換が必要です。ホシザキ販売会社に連絡してください。

フィルター

- 1 やわらかい布でほこりを取り除いてください。フィルターにゴミやほこりがつくと、正常な運転ができなくなります。



沸騰検知板（ホットパック仕様のみ）

- 1 沸騰検知板を右にスライドさせて取り外します。やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



⚠ 使用上の注意

- ・沸騰検知板を落としたり、ぶつけたりすると、正常な運転ができなくなります。曲がった場合は交換が必要です。ホシザキ販売会社に連絡してください。

毎日のお手入れ

チャンバーカバー・パッキン

- 1 やわらかい布にぬるま湯を含ませて汚れをふき取ります。



⚠ 使用上の注意

- ・市販のステンレスクリーナー、金属たわし、サンドペーパー、金属片などを使用しないでください。チャンバーカバーに傷がつきます。
- ・チャンバーカバーに傷や割れがあったら使用せず、ホシザキ販売会社に修理を依頼してください。
- ・チャンバーカバーは、アルカリ性洗剤やアルコールが付着するとひび割れや破損の原因になります。アルコールで手指を消毒したときは、手指がしっかり乾いてからチャンバーカバーに触れてください。また、製品周囲でアルカリ性洗剤やアルコールを噴霧する場合は、チャンバーカバーに付着しないようにしてください。付着した場合は、すぐにふき取ってください。

外装・操作パネル

- 1 外装はステンレスですが、お手入れをして常に清潔にしないとさびる場合があります。汚れた場合はすぐにふき取ってください。付着した油や水などを放置すると、汚れのあとが残る場合があります。



部品の取り付け

- 1 ガイド A を取り付けます。



- 2 ヒーターブロックを取り付けます。ヒーターブロック下部のダルマ穴を、左側のヒーターピンに差し込み左にスライドしてから、反対側のヒーターブロック下部の丸穴を右側のヒーターピンに差し込みます。



- 3 ガイド B を取り付けます。



毎日のお手入れ

水抜き運転

毎日の包装作業が終了したときに水抜き運転をすることで、ポンプオイルの劣化やポンプの故障を防ぐことができます。

⚠ 使用上の注意

- ・水分を含む食品を包装すると、真空工程中に水分が沸騰してポンプオイルに混入します。水分の混入はポンプオイルを劣化させ、ポンプ故障の原因になります。水分による影響を軽減するために、水抜き運転でポンプオイルの水分を排出することができます。

水抜き運転後、電源をオフにする場合

- 1 運転ボタンを押します。(電源がついていない場合は運転ボタンを押し、一度電源を入れてから行ってください。)
- 2 チャンバーカバーが本体に密着するよう、手でしっかりと押さえます。
- 3 水抜き運転画面が表示されたら、チャンバーカバーから手を離し、ストッパーをします。水抜き運転が終了したら自動で電源がオフになります。



使用中に水抜き運転をする場合 (水抜き運転後、電源を入れたままの場合)

- 1 水抜きボタンを押します。
- 2 チャンバーカバーが本体に密着するよう、手でしっかりと押さえます。
- 3 水抜き運転画面が表示されたら、チャンバーカバーから手を離します。水抜き運転が自動で終了します。



⚠ 使用上の注意

- ・終了音が鳴ったら顔を近づけないでください。開くチャンバーカバーで頭や顔をぶつけ、ケガの原因になることがあります。